



マグネシウム循環社会推進協議会

EV 部会活動報告

1. 開催行事： World Green Challenge 2023 <https://wgc.or.jp/>
2. 開催期間： 2023年8月6日 ～ 8月9日
3. 開催場所： 大潟村ソーラースポーツライン
4. 活動概要：

・当協議会の Mg-Day in Ogata III は、理念と活動内容の親和性が高いソーラーカーレースと古くから協力関係を持っている。ソーラーカーレースは今年で30周年という記念大会である。今回の Mg-Day in Ogata III は大潟村でのソーラーカーレースの開催時期に合わせて開催された。

・当協議会からは下記のメンバーが全体大会とグリーンフリートクラスの運営と競技に参加した。

【レース参加】

- ・玉川大学・・・グリーンフリートクラス（監督：斉藤先生（EV 部会））



レース結果：

第2位

ゼッケン No.3 S-Mg concept

玉川大学 TSCCP

記録：133点

- ・東京電機大学・・・グリーンフリートクラス（監督：西村先生（応用部会））



レース結果：

第4位

ゼッケン No.2 パッカス 2023

東京電機大学 FCV・EV プロジェクト

記録：76点

【運営参加】

- ・熊谷代表理事・・・特別技術顧問、大会運営本部&緊急車両担当
- ・木村 EV 部会長・・・技術顧問 ※公開セミナーでは地産地消の EV の開発の提案を実施
- ・坂本会長・・・フラッグ担当（ソーラーカー2日目）
- ・枡川応用部会長・・・フラッグ担当（ソーラーカー2日目）
- ・吉澤 EV 部会アドバイザー・・・審査委員長
- ・鎌田 EV 部会員・・・審査&講評担当

以上

【参考写真】



(熊谷からのコメント)

今回、参加メンバーのOBの皆様も参加し長期間かけて開発したプラグインハイブリッド車をオフィシャルカーとして使用しました。1990年代(ソーラーカーレースが日本で開始した時期)に日本の電力会社と当方も参加、共同開発したインフラ型ハイブリッド電気自動車のコンセプトの実現だと思います。私の走行ではEV走行で約100km(バッテリー容量約15kwh)+エンジンと連携したハイブリット走行で約900km(ガソリン容量約43ℓ)走行できる。今回の大潟村での開催期間中(8月5日から12日)は、加速が必要なコースでの走行他、滞在ホテル及び最寄り駅までの送迎を含めて、約500kmのすべての走行をEV走行としてテストできました。来年はソーラー発電からの充電で賄えればと思います。

体験した東日本大震災で電力供給対応のボランティアとして活動した救済メニューに、更に積極的に加えていけるものではないかと考えています。

補足：https://www.soleil-energy.jp/outline/material/external_announcement/index.html